常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和4年6月24日
鹿児島市立伊敷中学校

ファインダー越しの生徒たち

校長　河瀬　雅之

六月の第二週を中心に、市郡総体が行われました。三年生にとっては県大会につながるか、それともここで引退するかが決まる、勝負の大会です。今年は、研究公開との日程が近く、最後の調整までの時間が不十分だったはずですが、生徒たちはそれを感じさせない活躍ぶりでした。私も、日程と組合せ表を事前にもらい、**少しでも多くの試合で生徒たちを激励できるよう計画を練り、**離れた会場を分刻みで移動しました。場所によっては試合の後半しか見られなかったり、駆けつけた時には既に試合が終了していたりと、なかなかタイミングが合わないこともありましたが、**多くの生徒に直接声援を送ることができました。**

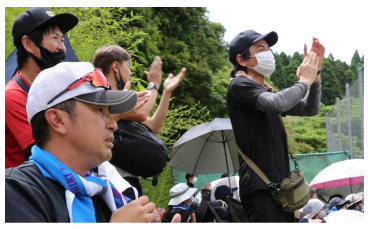
今年の大会も、コロナ対策のため、生徒や保護者の参加には厳しい制限が課せられました。会場の広さや競技の特性により、制限の差はありましたが、中には**保護者の立ち入りが一切できない会場もありました。**また、屋内競技では声援が一切禁じられており、生徒の熱い戦いを静かに見守る、いつもとは異なる雰囲気の中での大会となりました。

私は、参観できない保護者の代わりに少しでも多く子供たちの活躍の瞬間を記録に残したいと思い、**試合のほとんどの時間をカメラのファインダー越しに観戦しました。**

ファインダーの向こうには、いつも見る姿とは全く別の生徒の姿がありました。ユニフォームを身にまとっているせいもあるのでしょうが、表情そのものがキリッと引き締まり、**他校生よりも堂々たる雰囲気を感じました。**

プレーそのものがどうだったかを一言で評価することは本来難しいはずです。しかし、**本校生徒には共通して、チームプレーの素晴らしさを感じました。**そのことは、対戦チームも感じたことと思います。声の掛け合い、ポジション取り、パス回しにアイコンタクト。**決して個人プレーに走らず、仲間の力を信じてプレーする姿がとても印象的でした。**

また、選手以外の生徒も私の姿を見かけるとすぐに案内してくれたり、試合の様子を伝えてくれたりするなど周りへの心遣いも素晴らしい生徒たちでした。大会に参加し、生徒の成長を間近に感じることができました。



試合後はどの部活動も応援に駆けつけてくれた保護者を前に、キャプテンが感謝の気持ちと今後の抱負を語っていました。会場に入ることができなかった方々が多くいらっしゃったのにもかかわらず、献身的に世話をしてくださっている姿に触れ、**改めて保護者の皆様の支えあっての子の成長であると強く感じる大会でした。**

ご声援有り難うございました。

熱く燃えた市郡総体！

六月二日（木）の陸上部を皮切りに、各部活動の市郡総体が行われました。部活によっては、三年ぶりの開催だった部もありました。どの部も、この大会に向けて、三年生を中心に努力してきました。今回の大会を区切りに引退をする人もいることでしょう。しかし、これまで頑張ってきた時間は、何物にも代えがたいものです。何かに打ち込んだり、目標を決めて努力し続けたりすることは、今後の人生において、必ず意味をもちます。頑張ってきた自分をぜひ誇りに思ってください。そして、今後の学校生活や別の形で、その経験を生かしてください。県大会を決めた生徒の皆さんは、進むことができなかった人の分まで、ぜひ頑張ってください。

音楽コンクールに向けて

七月一日（金）の音楽コンクールに向けて、各学級がコロナウイルス感染対策をしながら、可能な練習に励んでいます。しかし、今後の感染状況によっては、実施延期や実施方法の見直し等、計画を変更しなければならない場合があります。そこで感染予防のために、学校や家庭での感染対策の徹底に努めていきましょう。そして、最高の音楽コンクールにしましょう。

公立高校説明会

五月二十六(木)、二十七日(金)の両日、公立高等学校説明会が行われました。二日間で十四校の説明を聞く機会となり、どの生徒にとっても、本格的に自分の進路と向き合うきっかけとなりました。三年生のみなさん、自分の目標とする高校は決まりましたか。あと一か月もすれば、夏休みです。「夏を制するものは、受験を制する」と言われます。今の自分の頑張りが、未来の自分を創ります。皆さんの頑張る姿を応援しています。

7月の主な行事予定

1日	音楽コンクール
6日	地域生徒会
7日	読み聞かせ（３年生）
8日	授業参観
	情報モラル講演会
	学年・学級ＰＴＡ
9日	第１回資源回収
13日～15日	３年職場体験
20日	１学期終業式
	大掃除
21日～28日	家庭訪問
	三者面談

多くの方々に支えられ、これまでの成果を発表することができました！

－第71回研究公開－

教頭　姥　英一郎

６月３日（金）に実施の第71回伊敷中学校研究公開では、コロナ禍において、午前の部と午後の部の分散開催や参加人数の制限など、感染対策を講じたうえで、我々が1年間取り組んできた研究の成果を県内の約300人近くの先生方にご覧いただきました。

これまで、伊敷中では「自ら考え判断し行動できる生徒の育成」をテーマに、各教科の課題を踏まえた授業づくりの研究実践を進めて参りました。更に、NEC と連携し、生徒や授業者の発言が視覚化されるシステムを体験するワークショップを取り入れました。参加された先生方から、「授業を見る際のポイントも示されていたことで、観点を持って授業を見ることができた。」「自分の中では至らなかった考えを、別の視点として把握することができ、さまざまな方向から今回の授業について深めることができた。」といった感想をいただきました。今後も、生徒が、学びを楽しみながら「自ら考え、判断し、正しく行動できる」力を身につけていけるように、研究を継続させていきます。

また、今回の公開でも、PTA　の方々に、駐車場の整理から受付、授業風景の撮影など、多くの役割を担っていただきました。皆様のご協力により、我々教職員は、研究授業や授業研究等に集中することができました。心から感謝申し上げます。これからも、保護者の方々に、伊敷中の教育活動を通した生徒の姿を発信しながら、魅力ある学校づくりを進めて参ります。